

今年の新発売・新品种

北海道向けF₁トウモロコシ

ムスタング(RX25)85日クラス

- ・ 発芽・初期生育が極めて良好なフリント系の早生種
- ・ 子実収量が極めて多収で、栄養価の高いサイが得られる
- ・ 耐倒伏性・耐病性に優れている
- ・ たくましさを表現してアメリカの野生馬ムスタングに因んで命名された品種

バッファロー(SH145)95日クラス

- ・ 耐倒伏性が特にすぐれた早熟性の早中生種
- ・ 道東地方にみられるススモン病に強い抵抗性を示す
- ・ 十勝・北見・網走地域の条件のよい地帯、および倒伏多発地帯に好適
- ・ アメリカの野牛 バッファローに因んで命名された品種

ニューデント100日(RX42)

- ・ 多収・耐病性・耐倒伏性のサイレージ用早中生種
- ・ N95日より若干遅くても、N105日では登熟に不安のある地域、北見、網走、上川方面の条件の良い地帯に適している

ニューデント120日(JX180)

- ・ 耐病性の最多収種
- ・ 道内では最も晩生タイプで道央・道南の条件の良い地帯に適する
- ・ 葉が上向きに伸長するアップライトタイプで比較的密植条件で高収が得られる

府県向けF₁トウモロコシ

パイオニアF号(P3965A)RM95

- ・ 府県では最も早生で高収の得られる品種
- ・ 短稈・耐病・多収 A号クラスの不安定地帯で威力を発揮
- ・ 二期作栽培の限界地帯でも活用される

パイオニアA号(P3732)RM110

- ・ 特性が改善されて新登場
- ・ 低温発芽性にすぐれ、初期生育良好
- ・ 耐倒伏性極強
- ・ 耐病性品種、特にゴマハガレ、黒穂病ともに抵抗性大

スノーデント2号(G4689)RM125

- ・ 新系統になりパワーアップ
- ・ 東北地方での低温発芽性に対処して、安定性が高まった品種
- ・ 黒穂病、ゴマハガレ病に抵抗性大
- ・ 緑度保持能力高く、高温地帯でのサイレージ適性極めて良好

パイオニア特2号(P3160)RM130

- ・ ゴマハガレ病抵抗性多収品種
- ・ 福島・山形県などの高温地帯好適
- ・ 低温発芽性、初期生育は鈍いので早播き栽培には不向き
- ・ 九州、西南暖地では、ゴマハガレ、スジイシク病などウイルス病にも耐性を示し、高収量が期待できる
- ・ 片親にフリントが使われ、絹糸抽出後の子実登熟が早い、密植をさけ1本立が肝要